

2026(令和8)年度 入学試験問題  
編入学(学士入学を含む)試験

**経済学部 経営情報学科**

**マネジメント・会計・情報**

**【注意】**

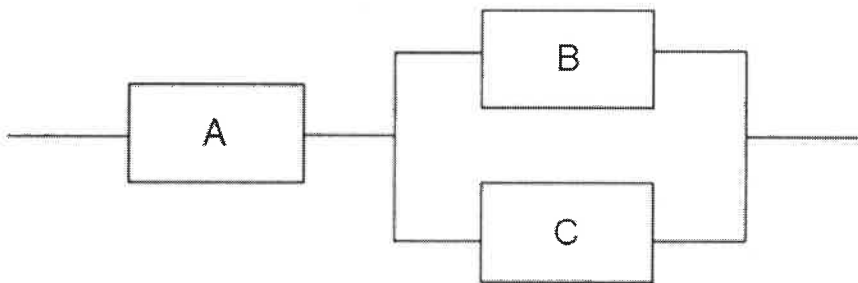
1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験時間は 10 時 00 分から 11 時 30 分まで(90 分間)です。
3. この問題冊子は表紙以外に 1 ページあり、解答用紙は 3 枚あります。
4. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
5. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
6. 受験者本人の特定につながるような氏名、住所、学校名等は記述しないでください。
7. 解答用紙を持ち出してはいけません。持ち出した場合、試験をすべて無効とします。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

問題1 人的資源管理論(以下、HRM)は1970年代から1980年代にかけて心理学の知見を取り入れ発展していった。なぜHRMは心理学の知見に頼ることになったのか、その理由を述べなさい。(配点30)

問題2 以下の設問(1)・(2)のいずれかを選択し解答せよ。選択した問題の番号は解答用紙中の括弧内に記入すること。(配点20)

- (1) 直接原価計算を採用することのメリットについて説明しなさい。
- (2) 発生主義会計について説明しなさい。

問題3 以下の図のように3台のコンピュータA、B、Cが接続されているシステムがある。コンピュータA、B、Cの稼働率はすべて0.9とする。以下の各問に答えよ。(配点20)



- (1) BとCが両方とも稼働している時にBとCによる並列部分は稼働していると判断する場合の、システム全体の稼働率を求めなさい。
- (2) BとCの少なくともどちらか1台が稼働していればBとCによる並列部分は稼働していると判断する場合の、システム全体の稼働率を求めなさい。